



平成 29 年 2 月 8 日

各 位

会社名 株式会社ボルテージ
代表者名 代表取締役会長兼社長 津谷 祐司
(コード番号：3639 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部管轄 松永 浩
(TEL. 03-5475-8193)

平成 29 年 6 月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 8 月 15 日に公表した平成 29 年 6 月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 29 年 6 月期 連結業績予想数値の修正(平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,300	600	600	340	66.61
今回修正予想(B)	9,500	150	150	10	1.96
増減額(B-A)	△1,800	△450	△450	△330	
増減率(%)	△15.9	△75.0	△75.0	△97.1	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 6 月期)	11,219	530	488	210	40.66

(注) 上記の 1 株当たり当期純利益は、平成 29 年 6 月期第 2 四半期累計期間における期中平均株式数 (5,104,543 株) を基に算出しております。

2. 修正の理由

当社は、平成 29 年 6 月期より、新たな 3 年戦略をベースにした大胆な組織改革を実行中です。

平成 29 年 6 月期第 2 四半期末までの売上高は、基幹シリーズ(従来の「基幹モデル(既存展開)」)は前年同期比で大幅に減少したものの、概ね想定通りに推移しております。一方、新シリーズ・実験作(従来の「基幹モデル(新展開)」・「新規モデル」)は、特に「パズルアクションゲームシリーズ」「シークシリーズ」の拡大幅が想定を大幅に下回り、売上全体として想定を下回って推移しております。利益も、費用を想定よりも低く抑えられたものの売上の減少を補てんするには至らず、想定を下回って推移しております。

第 3 四半期以降については、引き続き基幹シリーズの収益維持に努めつつ、新シリーズ・実験作の早期収益化を図ってまいります。平成 29 年 6 月期中の急激な好転は難しいと想定しております。

以上により、平成 29 年 6 月期は、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が、前回予想を下回る見込みです。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。